

自立活動だより

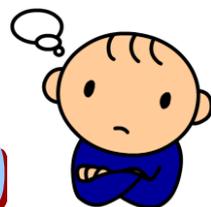
山形県立山形聾学校 自立活動部

平成28年5月27日(金)発行

第1号

今年度も年6回、「自立活動だより」を発行します。このお便りは、「①自分で読む。(特に中・高生)、②授業で先生と一緒に勉強する。③家族と一緒に読む。」など、活用してもらいたいと思います。幼稚部や小学部低学年・中学年のみなさんは、先生やお家の人と一緒に読んで、きこえのことや補聴機器のこと、言葉のことについて、知っていることを増やしていきましょう。

自立活動では、どんな勉強をするのだろう。



Q1 どうして、「自立活動」の勉強が必要なのですか。

自立活動の勉強は、みなさんが生活の中で悩んだり、困ったりしたことをきっかけにし、困ったことを減らし、生活や学習をよくしようとしたり(改善)、困ったことを乗り越えようとしたり(克服)するため、必要なことを知り、将来の生活へつなげていく勉強です。きこえ方や補聴機器のこと、言葉のことなど、多くのことを学びます。

Q2 自立活動の「自立」って、どんな意味ですか？

「自立」とは、みなさん自身の力で、主体的によりよく生きていくという意味です。「主体的」というのは、「自分から」と似ている意味です。ですから、自立活動の勉強は、みなさんが自分から、自分で取り組むことを大切にしていきます。ぜひ、「主体的」に取り組み、将来の生活に生かせるようにしていきましょう。

Q3 自立活動の勉強は授業のときだけですか？

自立活動の勉強は、学校に登校してから下校するまでの学校生活の中、全ての場面で行われるものです。担任の先生や自立活動を担当する先生だけではなく、他学部の先生方との会話や国語や社会といった教科、全てが自立活動の勉強につながります。話の聞き方やわからなかったこと確かめ方、自分の気持ちの伝え方など、学校全体で学習しています。



★今年度の始まりにあたり、改めて自立活動を勉強する意味を振り返りました。みなさんの将来の生活を豊かなものにできるよう、1年間取り組みましょう。

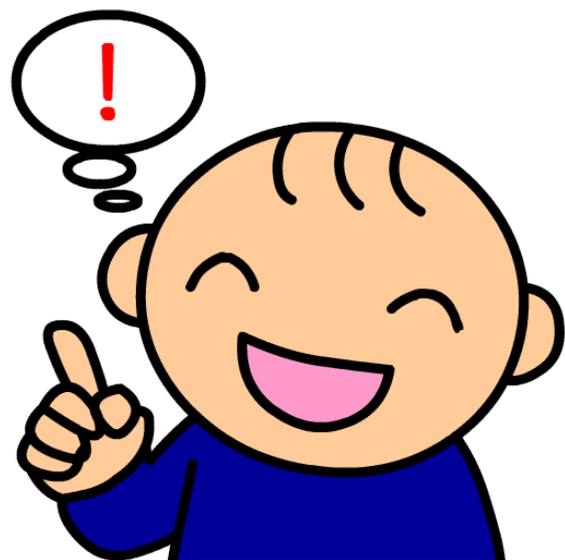
言葉の世界を広げよう

6月は梅雨（つゆ）の時期にあたります。雨が続く季節です。雨が降る様子を表す言葉には、次のようなものがあります。

雨が降る様子を表す言葉		
しょぼしょぼ	弱い ↑ ↓ 強い	情けなく降っている様子
しとしと		音もたてずに細かい雨が降る様子
ぽつぽつ		まばらに降る様子
ぱらぱら		ぽつぽつより多く、勢いもあり、軽く音がする様子
ばらばら		ぱらぱらよりもさらに粒が大きく音も大きい様子
ざあざあ		もっとも大量で勢いが強い様子

同じ音を重ねた言葉で、雨の降る様子を表していますね。このように、日本語には、同じ音を重ねて様子を表す言葉（畳語）と呼ばれる言葉がたくさんあります。次の①から⑩の文の（ ）に当てはまる正しい言葉を、下の---の中から選んでみましょう。

- ① 点数が（ ）あがる。
- ② 赤ちゃんが（ ）歩く。
- ③ 悲しくて（ ）泣く。
- ④ かざぐるまが（ ）回る。
- ⑤ うちわで（ ）あおぐ。
- ⑥ 急いで（ ）歩く。
- ⑦ おかしくて（ ）笑う。
- ⑧ ごはんを（ ）食べる。
- ⑨ 花粉症で鼻が（ ）する。
- ⑩ 水を（ ）飲む。



・よちよち ・ぱたぱた ・くるくる ・どんどん ・すたすた
 ・ぱくぱく ・しくしく ・むずむず ・がぶがぶ ・げらげら

補聴器点検日

6月13日（金）・7月15日（金）